Panasonic

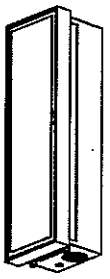
取扱説明書

保管用

施工説明書別添付

住宅用照明器具（ひとセンサ付ポーチライト）

品番 HWC5812BEL（オフブラック）
HWC5812YEL（プラチナメタリック）



お客様へ このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、工事店、電器店に依頼してください。

注）この商品は人を検知して、フラッシングで人を威かくする機能を持っていますが、侵入、盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■器具を改造したり、部品交換をしない

分解禁止

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る

必ず守る

異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

■ランプは器具表示のものを使用する

必ず守る

間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災・感電のおそれがあります。

■アルカリ系洗剤は使用しない

禁止

強度低下による破損のおそれがあります。

⚠ 注意

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

必ず守る

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
●1年に1回は別紙「安全チェックシート」に基づき、自主点検してください。

■ランプ交換、お手入れの際は、電源を切る

必ず守る

通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

■本体の取り外しは工事店、電器店に依頼する

必ず守る

本体の取り外しには資格が必要です。

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない

接触禁止

やけどの原因となることがあります。

■温度の高くなるものを置かない

禁止

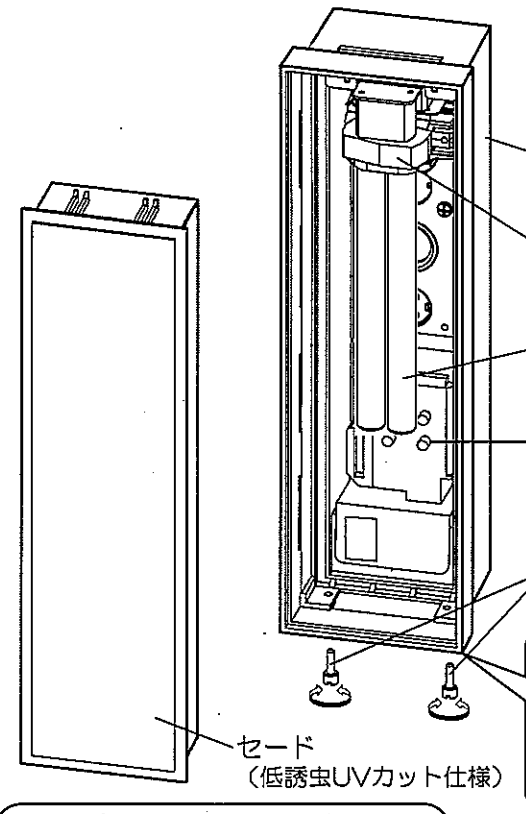
器具の近くに温度の高くなるものを置かないでください。
火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

●点灯直後約10分間は、明るさや光色が若干変化します。
●周辺温度の違いにより、明るさや光色が若干変化します。
●ランプのプラスチック部分は使用していると変色する場合がありますが、性能には影響がありません。
●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
●低誘虫の効果は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また設置した器具の周囲の光環境によって誘虫効果に差が生じます。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ



調整ツマミ

使い方に合わせて、調整してください。
（☞ 4～6ページ参照）

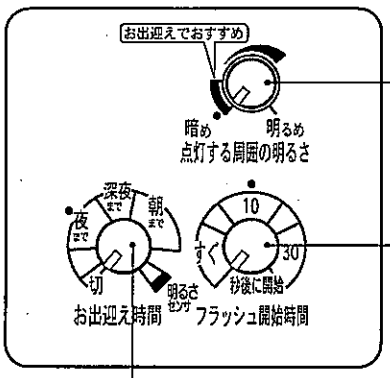
検知部

・周囲の明るさを検知する「明るさセンサ」と、人の動きによる温度変化を検知する「人センサ」が内蔵されています。
・全方向に約２０度動きます。
・リモコンからの信号を受けます。
（傷つけたり、汚したりしないでください）

ブザー

・リモコン信号を受信すると音が鳴ります。
（☞ 3ページ）
・人を検知すると、アラーム音がなります。
（☞ 4ページ）
・アラーム音は３段階で調整あるいは切ることができます。
（☞ 3ページ）

調整ツマミのはたらき



●点灯する周囲の明るさ調整ツマミ

周囲がどれくらい暗くなったら、「昼間の動作」から「夜間の動作」に切り替えるかを調整します。
・右に回すほど、明るいうちから動作するようになります。
・右いっぱいに回すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。

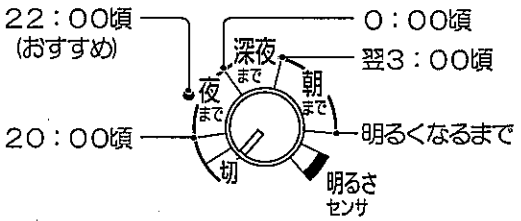
●フラッシュ開始時間調整ツマミ

・検知範囲に人が入って、どれくらい経ってから照明をフラッシングさせるかを調整します。
・「すぐ」、「１０」秒後、「３０」秒後から選べます。

●お出迎え時間調整ツマミ

・お出迎え点灯の終了する時刻を調整します。
２０時頃から翌朝明るくなるまで調整できます。（左図参照）
・お出迎え点灯を省略して使用する場合は「切」にします。
・人の検知に関係なく、自動的に昼間は消灯、夜間は１００%点灯させて使用する場合は「明るさセンサ」にします。

「お出迎え時間」ツマミの
終了時刻の目安（注）

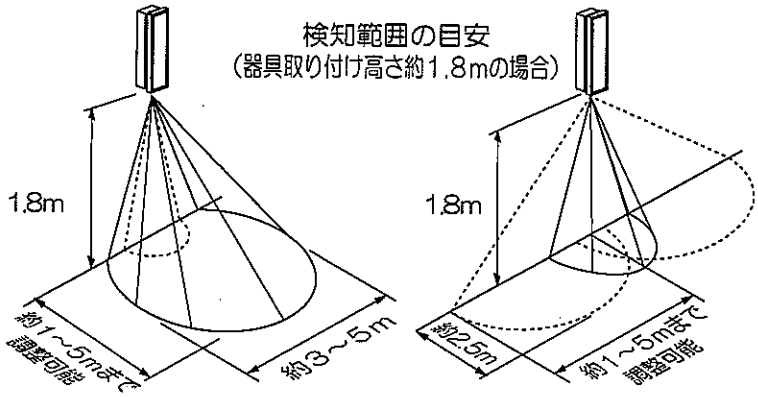


（注）時刻は目安です。地域や天候により、設定時刻より１時間前後のずれが生じることがあります。

センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約２０度動きます）
●器具の取り付け高さ１.８ｍ（標準）～３ｍの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安
（器具取り付け高さ約1.8mの場合）



前後に動かした場合　　左右に動かした場合

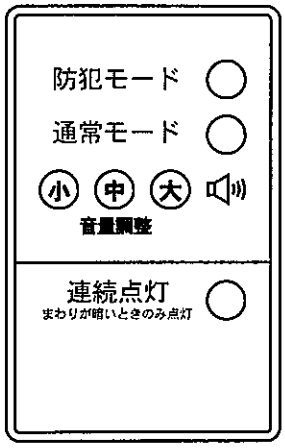
ご注意

●この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。
また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
●検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
●夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
●センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

リモコンについて

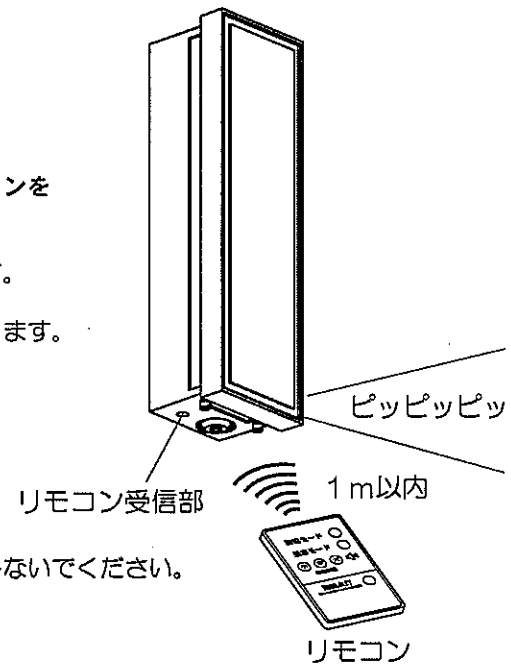
防犯モード、通常モード、連続点灯への切り替えは、付属のリモコンで行います。
壁スイッチをＯＮにした状態で、リモコン受信部に向けてリモコン操作を行ってください。

※フラッシュ開始時間調整ツマミを「すぐ」に設定した状態で、防犯モードボタン、または通常モードボタンを押すと、警告時の動作（フラッシュ光＋アラーム音）を約１０秒間行った後、通常の動作に移行します。



＜使い方＞
・リモコン受信部から１ｍ以内で操作してください。
リモコン信号を受信すると、ランプが一旦消え、「ピッピッピッ」と音が鳴ります。
●**アラーム音の入／切の切り替えは、防犯モードボタンを長押し（約３秒以上）することで行ないます。**
（切り替え時に「ピピッー」と音が鳴ります）
・アラーム音は小・中・大の３段階から選択できます。
（出荷時は大に設定されています。）
それぞれのボタンを押すとアラーム音が約１秒鳴ります。

＜電池交換について＞
・リモコン裏面の表示を参照して交換してください。
・使用電池：ＣＲ２０２５　１個
・電池は約１年を目安に取り替えてください。
・⊕⊖は正しく入れてください。
・指定以外の電池は使用しないでください。
・使用済み電池は、可燃ゴミにまぜたり燃やしたりしないでください。



⚠注意

・リモコンは非防水です。雨などがかからないように注意してください。
・リモコンを直射日光の当たる場所など高温になるような場所に放置しないでください。
本体の変形や電池の液漏れなど故障の原因となります。
・防犯モードボタンを長押ししてアラーム音を「切」にしても、照明器具の電源を切るとアラーム音は「入」に戻ります。

メモ

・壁スイッチをＯＮにした直後は、リモコン操作ができません。
このときにリモコン信号を受信すると、「ピーッピーッ」とキャンセル音が鳴ります。ＯＮにした直後は検知範囲の外で４０秒以上待ち、ランプが一旦消えてから操作を行ってください。
・リモコンの動作上、太陽光などの強い光が受信部にあたっている状態では、リモコンが若干効きにくくなります。
リモコンを受信部に近づけて操作してください。
・ご家族で複数個使用される場合は、別売りのリモコン（ＨＫ９４３４）を別途お買い求めください。

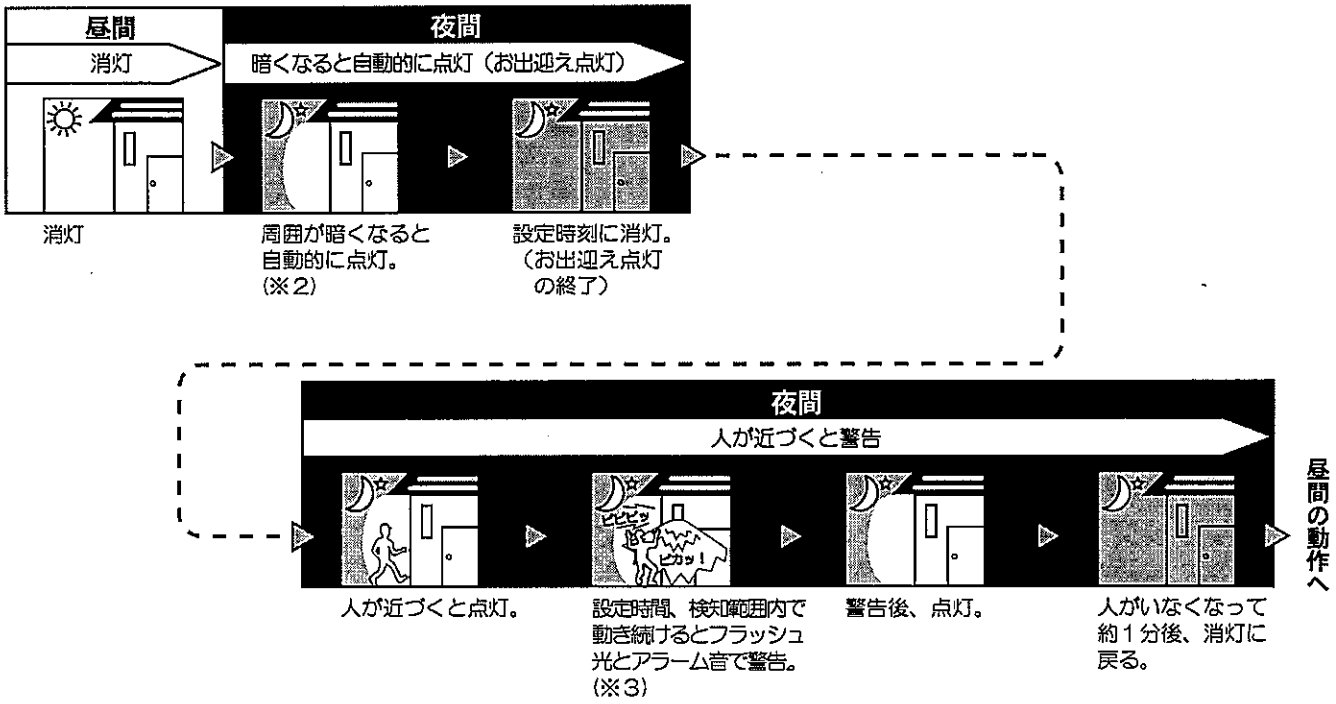
使い方

センサによる点灯

●壁スイッチは常時ONで使用してください。センサのはたらきにより、自動的に点灯、消灯します。
●ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、付属のリモコンでモードを設定してください。（出荷時は通常モードの状態です）

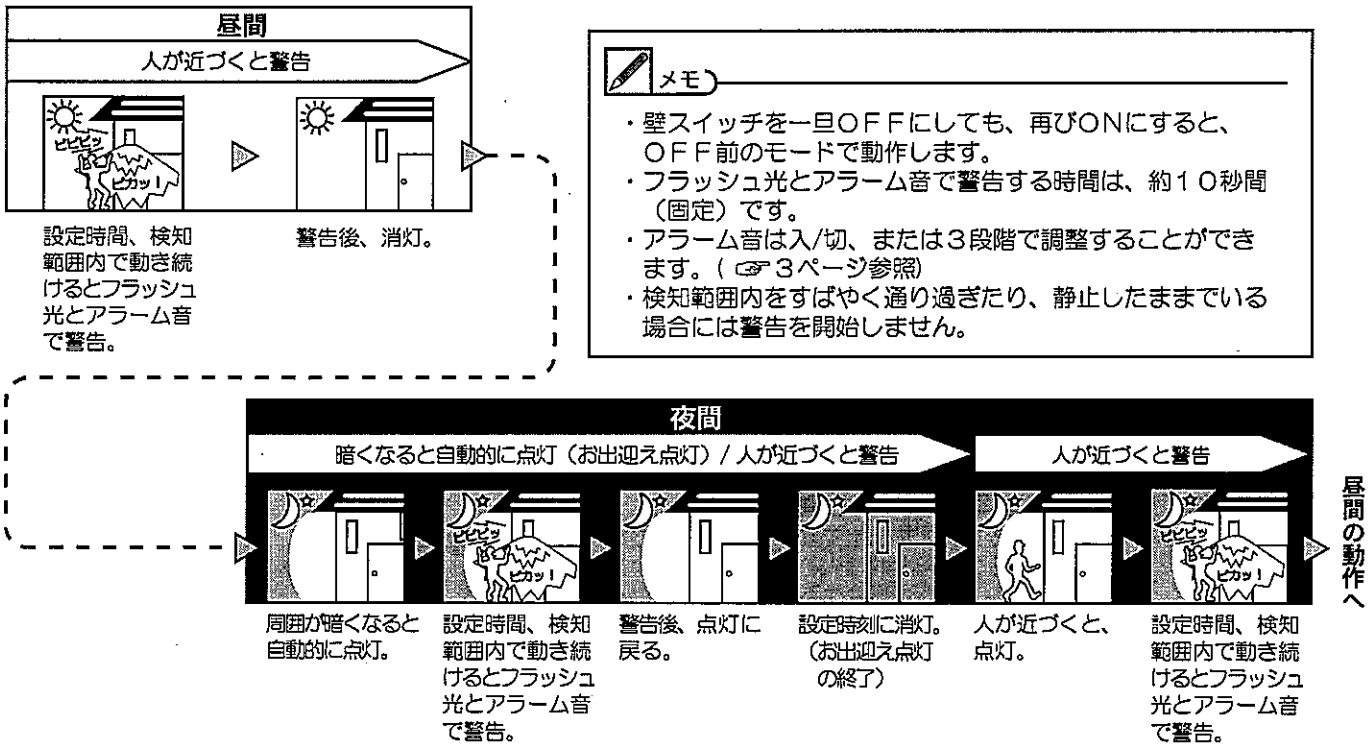
通常モード の動作説明（※1）

調整ツマミの設定方法 ☞ 5ページ



防犯モード の動作説明（※1）

調整ツマミの設定方法 ☞ 5ページ



メモ

- 壁スイッチを一旦ＯＦＦにしても、再びＯＮにすると、ＯＦＦ前のモードで動作します。
- フラッシュ光とアラーム音で警告する時間は、約１０秒間（固定）です。
- アラーム音は入/切、または３段階で調整することができます。（☞３ページ参照）
- 検知範囲内をすばやく通り過ぎたり、静止したままでいる場合には警告を開始しません。

連続点灯 の動作説明

設定方法 ☞ 6ページ

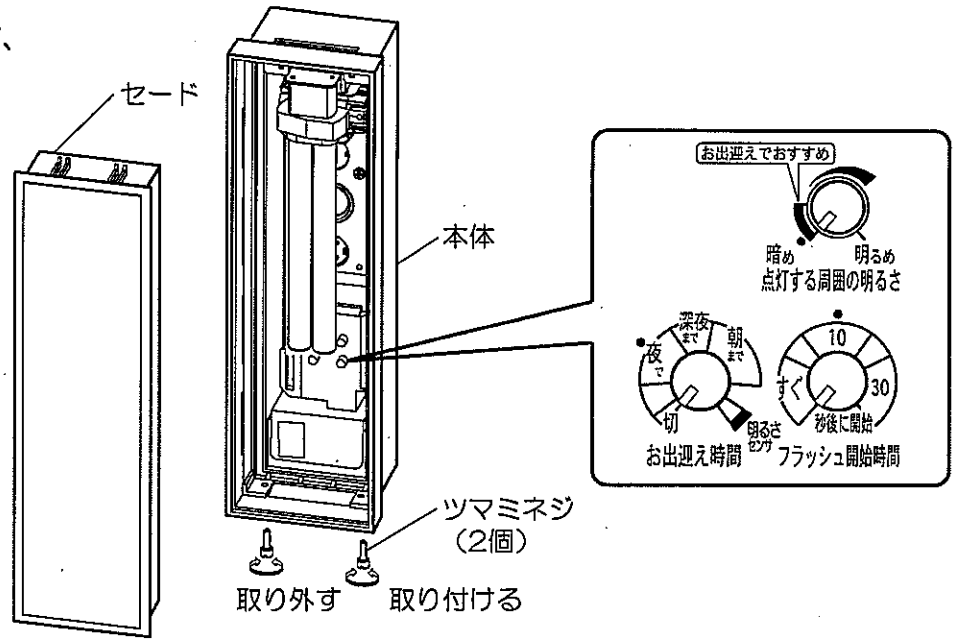
人がいないときも点灯し続けます（周囲が暗いときのみ切り替え可能）

（※1）人の検知に関係なく、自動的に昼間は消灯、夜間は点灯させることもできます。（くわしい設定方法は ☞ 6ページ）
（※2）人が近づいたときだけ点灯させる（お出迎え点灯なし）こともできます。（くわしい設定方法は ☞ 6ページ）
（※3）警告動作をさせないこともできます。（くわしい設定方法は ☞ 6ページ）

設定方法

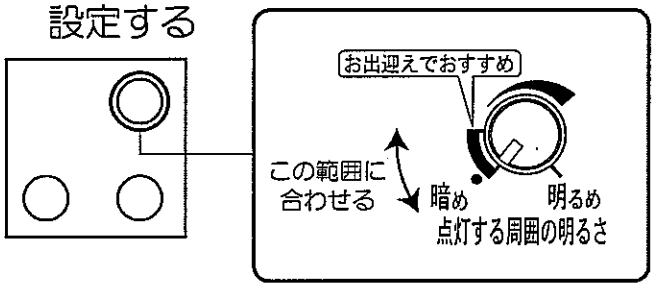
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

●壁スイッチをＯＦＦにして、
ツマミネジ（2個）をゆるめて、
セードを取り外してください。



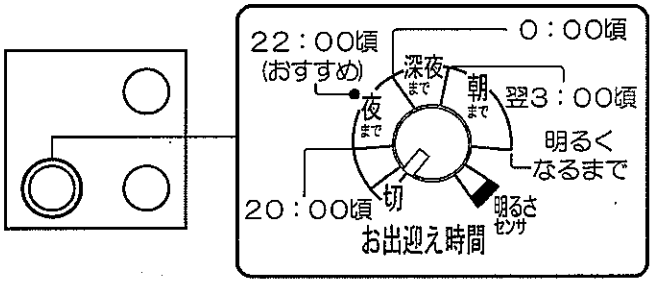
●調整ツマミを以下のように設定します。

1 **点灯する周囲の明るさ**調整ツマミで、昼間の動作から夜間の動作に切り替わるときの周囲の明るさを設定する



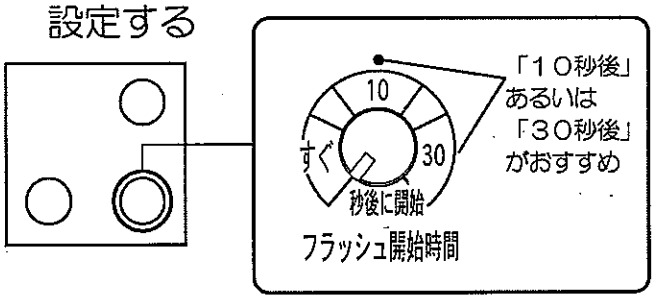
・お出迎え点灯させる場合は、必ずおすすめの範囲にツマミを合わせてください。

2 **お出迎え時間**調整ツマミで、お出迎え点灯が終わる時間を設定する



・上記の時刻は目安です。地域や天候により、設定時刻より１時間前後のずれが生じることがあります。

3 **フラッシュ開始時間**調整ツマミで、検知範囲内に人が入ってからフラッシュを開始するまでの時間を設定する

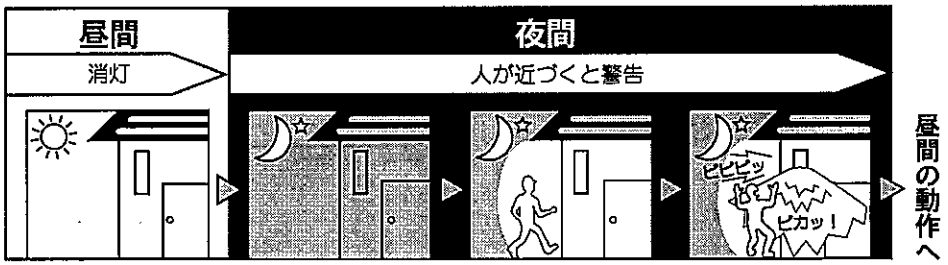


●調整ツマミを設定したら、セードを取り付け、壁スイッチをＯＮにし、付属のリモコンで使用するモードを設定してください。

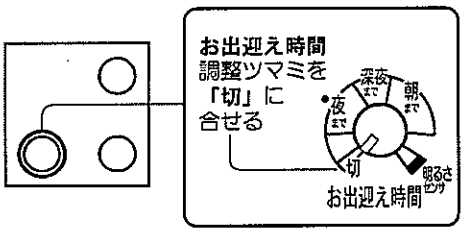
メモ

・壁スイッチをＯＮにした直後の約４０秒間は、設定に関係なくランプが１００％点灯します。
・通常のご使用では設定後は壁スイッチをＯＮにしたままにしてください。
・壁スイッチをＯＮにした当日は、お出迎え点灯が４時間で終了します。
翌日からは設定した時間通りに動作します。

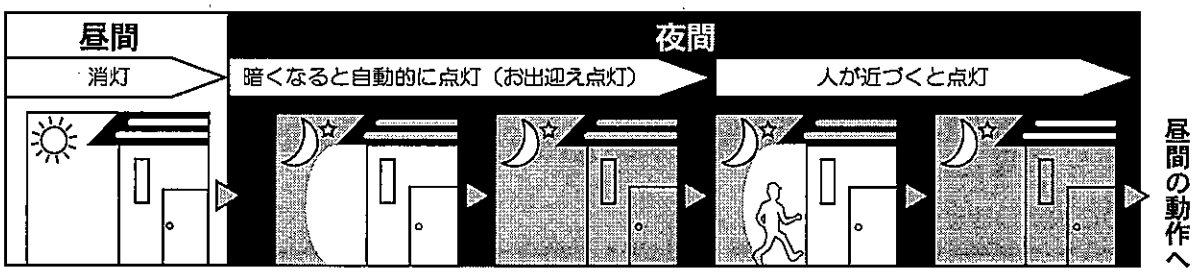
人が近づいたときだけ点灯させたい（お出迎え点灯をやめたい）とき



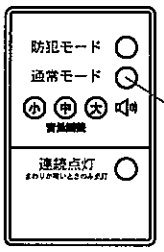
消灯　　周囲が暗くなっても人がいないときは消灯。　　人が近づくと点灯。　　設定時間、検知範囲内で動き続けるとフラッシュ光とアラーム音で警告。



通常モードでの警告動作をさせたくないとき

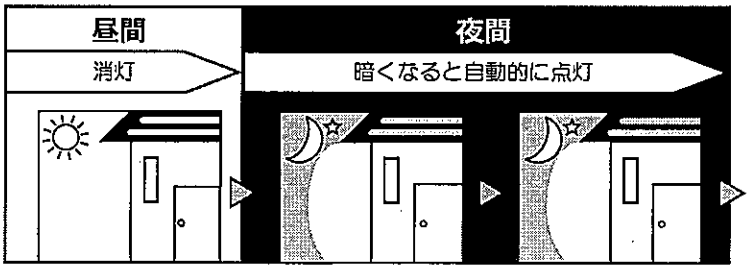


消灯　　周囲が暗くなると自動的に点灯。　　設定時刻に消灯。（お出迎え点灯の終了）　　その後は、人が近づくと点灯。　　人がいなくなって約１分後、消灯。

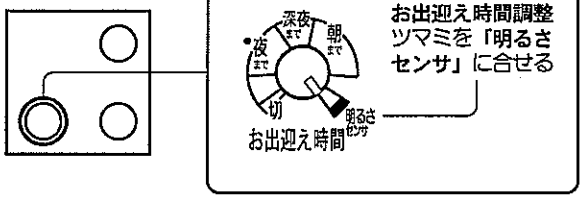


付属のリモコンの通常モードボタンを長押し（約３秒以上）することで行います。（切り替え時に「ピピーッ」と音が鳴ります。）

人の検知に関係なく、昼間は消灯、夜間は点灯させたいとき

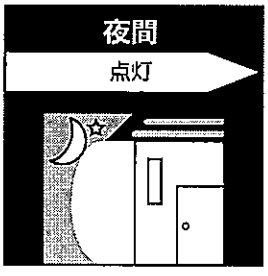


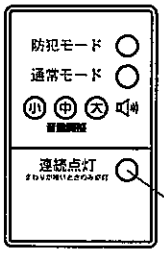
消灯　　周囲が暗くなると自動的に点灯。　　暗い間は人がいてもいなくてもずっと点灯。



●周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。
消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

人がいなくても一時的に１００％点灯させておきたいとき（連続点灯）





付属のリモコンの連続点灯ボタンを押す。

メモ

・周囲が明るいときに連続点灯ボタンを押してもモードは切り替わりません。
（「ピーッピーッ」とキャンセル音が鳴ります）
・周囲が明るくなると、自動的に切り替え前のモードに戻ります。
・周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。
消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

ランプを交換する

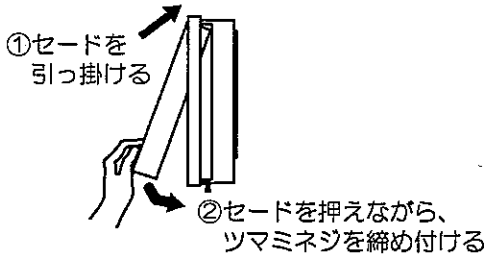
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

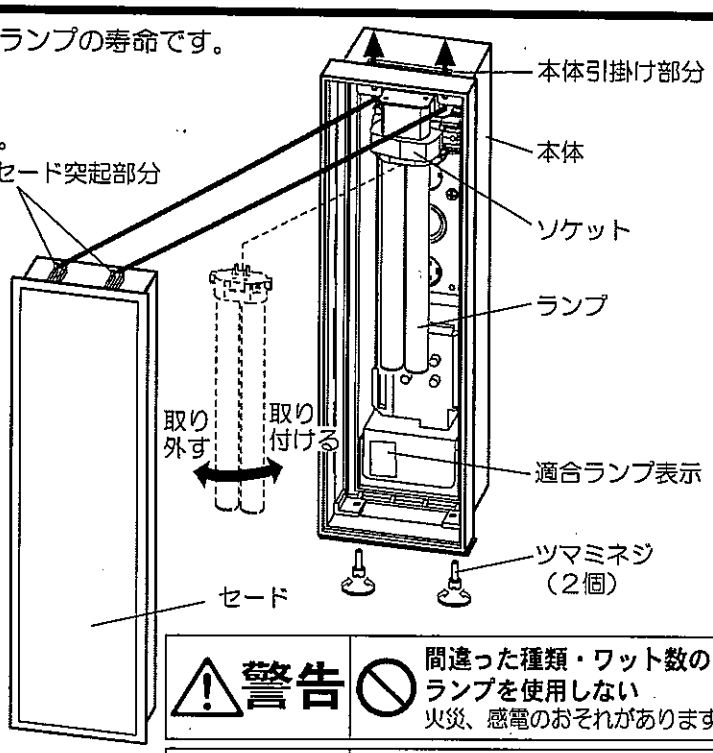
●ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。
パナソニック製ランプをお求めください。
●ランプの種類は器具に表示しています。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

1 ツマミネジ（2個）をゆるめて
セードを取り外す
●ツマミネジは完全に取り外して下さい。
セード割れの原因となります。

2 **ランプを交換する**

3 セードを本体に引っ掛け、ツマミネジ（2個）を締め付けて
セードを取り付ける
①セード突起部を本体引掛け部分に引っ掛ける。
②セードの取付穴をツマミネジにあわせ、押えながら
ツマミネジ（2個）を確実に締め付ける。
●取付後、セードにガタツキが無いことを確認ください。





⚠警告 **間違った種類・ワット数のランプを使用しない**
火災、感電のおそれがあります。

⚠注意 **取り付けは確実に行う**
浸水による感電及び落下による
けがの原因となることがあります。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1度程度）に清掃してください。
汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因になります。
●アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
●検知部（☞2ページ）が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。定期的にやわらかい布で清掃してください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50または60Hz専用	17W （センサ待機時 0.17W）	１３形コンパクト形蛍光灯ＦＰＬ１３

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、「修理ご相談センター」へ！
●その他は、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書について
保証期間はお買い上げの日より1年間です。
但し、安定器については3年間です。（ランプなどの消耗品は除きます。）
保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へ
お申し出ください。
※保証の例外　24時間連続使用など、１日20時間以上の長時間
の使用の場合、保証期間は半分となります。

■補修用性能部品の保有期間 6年
この照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後
最低６年間保有しています。
注）補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は、お買い上げの販売店まで、製品名、品番、お引き渡し日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。
技術代　診断・修理・調整・点検などの費用です。
部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料　ご依頼により技術者を派遣する費用です。

故障かな？と思ったら　（下記の点検をお願いします）

●異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。

症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
センサの検知範囲に人がいないのに点灯（またはフラッシング）している	点灯状態が連続点灯である	付属のリモコンで防犯モードあるいは通常モードに切り替える	3ページ
	電源を投入した直後である	故障ではありません。 電源を投入した直後、約４０秒間は周囲の明るさに関係なく点灯します。	5ページ
	停電から回復した直後である		
	防犯モードあるいは通常モードに切り替えた直後である	故障ではありません。 フラッシュ開始時間調整ツマミを「すぐ」に設定した状態で、防犯モードあるいは通常モードボタンを押すと、警告動作を行った後、通常の動作に移行します。	3ページ
	検知範囲に人以外の熱源がある。 例）エアコンの吹き出し口、風などでよく揺れるもの、車の熱やヘッドライト、動物、雨、雪など	故障ではありません。 センサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため人以外の熱源でも点灯する場合があります。	3ページ
	お出迎え時間ツマミ調整が「明るさセンサ」になっている	人を検知して照明を点灯させる場合はお出迎え時間調整ツマミを「明るさセンサ」以外にします。	2ページ
センサの検知範囲に人がいるのに点灯（またはフラッシング）しない	壁スイッチがＯＦＦになっている	壁スイッチをＯＮにする。	——
	ランプが切れている	ランプを交換する。	7ページ
	点灯する周囲の明るさ調整ツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「明るめ」方向に回して調整する。	2ページ
	人が静止している	故障ではありません。 静止している人は検知しません。	3ページ
人が近づいても検知しにくい	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整する。	3ページ
	検知部に汚れや水滴などが付着している	検知部をやわらかい布などで拭く。	7ページ
	検知しにくい条件となっている	故障ではありません。	3ページ
お出迎え点灯が終了時刻を設定した時間より早い/遅い	天候により、周囲が暗くなる時刻が通常より早かった/遅かった	センサの性能上、天候によりお出迎え時間の終了時刻がばらつきます。	2ページ
	電源を投入した初日である	電源を投入した初日は、お出迎え時間は約4時間で終了します。 翌日より設定した時刻に終了します。 （壁スイッチは常時ＯＮで使用ください）	5ページ
周囲が暗くなっても点灯（お出迎え点灯）しない	点灯する周囲の明るさ調整ツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「明るめ」方向に回して調整する。	2ページ
	お出迎え時間調整ツマミが「切」になっている	お出迎え点灯をさせる場合は、お出迎え時間調整ツマミを「切」以外にします。	2ページ
周囲が明るいのに点灯（お出迎え点灯）する	点灯する周囲の明るさ調整ツマミが「明るめ」になっている	点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「暗め」方向に回して調整する。	2ページ
	器具の設置場所が昼間でも暗い		
検知範囲を人が通ったのに照明がフラッシングしない	検知範囲を素早く通り過ぎた	故障ではありません。 検知範囲内を素早く通り過ぎた場合は設定時間を過ぎても、照明はフラッシングしません。	4ページ
	警告動作が「切」になっている	付属のリモコンで通常モードボタンを長押し（3秒以上）し、警告動作を「入」に切り替える。	6ページ
一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても照明がフラッシングしない	フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	故障ではありません。 一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約１分間経過しないと、再びフラッシングしません。	——
アラーム音が鳴らない	アラーム音が「切」になっている	付属のリモコンで防犯モードボタンを長押し（3秒以上）し、アラーム音を「入」に切り替える。	3ページ

●処置した後に正常に戻らない場合は、いったん電源を切り約１０秒以上経ってから再び電源を投入してみてください。

それでもなお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店、電器店、別紙ご相談窓口にご相談ください。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部

〒571-8686　大阪府門真市門真1048

© Panasonic Electric Works Co.,Ltd. 2009-2010

HWC5812B-T3A2　　N0409-020810